

私立大学環境保全協議会 第39回夏期研修研究会 プログラム

(主催：私立大学環境保全協議会、共催：関西大学)

日時 【第1日】2026年8月27日(木)

特別講演、研修講演	13:00～15:20
グループ討議	15:40～17:10
情報交換会	17:30～19:00

【第2日】2026年8月28日(金)

グループ討議	9:30～11:00
講演	11:20～12:20
キャンパス見学会	12:30～13:10

会場 関西大学 吹田みらいキャンパス
〒565-8585 大阪府吹田市山田南 50 番 2 号

※キャンパス内は全面禁煙です。
※学内に売店はありません(飲料の自動販売機は複数あり)
※夏期休暇中につき、昼食時に食堂は営業していません。
ご昼食はお済ませのうえ、または持参してご来場ください。



←吹田みらいキャンパス
交通アクセス

阪急バス
発着時刻表→
(検索)



<電車でのアクセス>

JR 京都線「岸辺」駅で下車、阪急バスに乗り換え、または徒歩約18分
JR 京都線「吹田」駅で下車、阪急バスに乗り換え
阪急電鉄京都線「正雀」駅で下車、阪急バスに乗り換え
阪急電鉄千里線「南千里」駅で下車、阪急バスに乗り換え
北大阪急行電鉄「桃山台」駅で下車、阪急バスに乗り換え



←阪急バス路線図

<バスでのアクセス>

阪急バスを利用し、「関西大学吹田みらいキャンパス」または「亥子谷名神下」下車、徒歩約3分

主要会場

- ・講演会場：サウスウィング 2階 大ホール S201 (定員 408名)
- ・グループ討議会場
I・IIIグループ：サウスウィング 2階(S205・S206) (定員 147名)
IIグループ：ノースウィング A 1階(N105～N109) (定員 24名)
- ・情報交換会会場：サウスウィング 1階 食堂
近隣にコンビニエンスストア(セブンイレブン・ローソン)あり(徒歩5分)



第1日

【8月27日（木）】

サウスウィング2階 大ホール(S201)

司会：私立大学環境保全協議会 理事

1. 開会挨拶 13:00～13:10 私立大学環境保全協議会 会長 菅原 義之
2. 開催校挨拶 13:10～13:20 関西大学 副学長/環境保全委員会副委員長 長岡 康夫
3. 特別講演 13:20～14:10 (50分間)

「カーボンニュートラル社会を支える分離工学と進化する多孔質材料」

関西大学 環境都市工学部教授 田中 俊輔

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、二酸化炭素の回収・利用や水素エネルギーの活用など、さまざまな技術開発が進められている。その中で、物質の分離・精製を担う分離工学は、省エネルギー化と環境負荷低減を実現する基盤技術として重要な役割を果たしている。近年、多孔質材料の分野では、昨年のノーベル化学賞を契機として社会的関心が高まった金属有機構造体(MOF)が注目を集める一方、長年利用されてきたゼオライトにおいても新たな機能や分離機構が見出され、その可能性が大きく広がつつある。本講演では、カーボンニュートラル社会における分離工学の役割を概説するとともに、MOFやゼオライトを中心とした進化する多孔質材料の最新動向を紹介し、次世代の分離技術について展望する。

◇休憩・デモ展示見学(20分)◇

4. 研修講演 14:30～15:20 (50分間)

「マテリアル×再生医療×環境保全:これからのSDGsと社会実装」

関西大学 化学生命工学部教授/カーボンニュートラル研究センター長 上田 正人

これまで人工骨開発などの再生医工学分野でチタンの表面処理により生体骨との密着を促す研究を進めてきた。この知見を基に、脊椎動物の骨とサンゴの骨格形成メカニズムの類似性に着目。医療用チタン技術を応用し、サンゴの最小単位である「ポリプ」を効率的に増殖・定着させる手法を開発している。長期間を要する環境保全には、研究室内の活動だけでなく、社会実装に向けた仕組みづくりが欠かせない。クラウドファンディングによる一般層の巻き込みや小児がん病棟との連携、資金が循環するスタートアップでの実践、さらに万博出展を契機とした国際共同研究など、多角的なアプローチを展開している。

本講演では、マテリアルと再生医療の技術を地球の未来へ繋ぐため、研究・経済・社会を一体で動かす「生きたSDGs」のヒントを共有したい。

◇ 休憩・デモ展示見学・移動(20分) ◇

5. グループ討議 15:40～17:10 (90分間) サウスウィング2階(S205・S206)
ノースウィングA1階(N105～N109)

※Ⅰ～Ⅲグループから一つ選択してご参加ください。

Ⅰ：教育と連携 「関西大学におけるSDGs推進プロジェクトの活動」

「KANDAI for SDGs 推進プロジェクト」では、「考動力」と「革新力」を兼ね備えた人材の育成や、SDGsに貢献する社会連携等を展開している。今回は、この取組を紹介いただき、学生によるSDGsや社会連携活動に対する大学の役割を討議する。

Ⅱ：化学物質 「大学における化学物質管理のあり方について」

これまでのグループ討議と同様に、大学における化学物質管理のあり方について、複数のグループに分かれて、テーマに応じた意見交換などを行います。また、関西大学における高圧ガス環境整備の取組み事例紹介も予定しています。

- A：初心者向け基礎的内容
- B：化学物質アセスメントの実務（ばく露軽減措置含む）
- C：化学物質管理体制について（高圧ガス含む）
- D：化学物質にかかる安全教育について
- E：実験系廃棄物管理について

Ⅲ：施設・設備 「本学の施設管理『これに困っている』を 徹底討論

～みんなの知恵を借りて持ち帰る解決策のヒント～

環境保全や施設管理の現場で、日々職員が頭を抱えている「リアルな困りごと」を吐き出し、共通の課題を持つ仲間で解決策を模索します。事前アンケートを元に、以下の二つのテーマで討議を行い結果について参加者で共有します。

テーマ① 老朽化とメンテナンスのジレンマ

「予算が足りない」：修繕が必要な箇所だらけなのに、予算が毎年削られてパッチワーク的な対応しかできない。

「トラブルのモグラ叩き」：空調や給排水の突発的な故障対応に追われ、計画的な予防保全に手が回らない。

テーマ② 環境保全・省エネへの圧力と現実

「ユーザー（教職員・学生）の意識の低さ」：誰もいない教室の照明や空調がつけっぱなし。注意しても響かない。

「研究室の特殊事情」：実験機器のために24時間空調を止められない。省エネ目標の達成と研究支援の板挟み。

また、上智大学藤野様より「キャンパス環境改善における学生の参画について」の事例をご紹介します。

◇ 移動（20分） ◇

6. 情報交換会 17:30～19:00（90分間） サウスウィング1階 食堂

第2日

【8月28日（金）】

1. グループ討議 9:30～11:00（90分間） サウスウィング2階(S205・S206)
（前日より引き続き討議を行います） ノースウィングA1階(N105～N109)

◇ 移動・休憩・デモ展示見学（20分） ◇

2. 講演 11:20～12:10（50分間） サウスウィング 大ホール(S201)
司会：私立大学環境保全協議会 理事

「MOTTAINAI とパートナーシップ 吹田市の環境政策」

吹田市 環境部環境政策室参事 小山 修平

地域のごみ問題、企業活動を原因とする公害問題から始まった環境行政は、現代では、気候変動や生物多様性の喪失など、地球規模にその範囲が広がってきています。こうした地球環境問題には、地域や住民の取組が、すぐに目に見える結果につながりにくいという性質があります。

本講演では、現代の環境行政が目指しているところを概観したうえで、吹田市が、大学をはじめ様々な主体とのパートナーシップを通じて、基礎自治体としてどのように地球規模の環境問題に取り組んでいるかをご紹介します。

3. 講演総括 12:10～12:20 私立大学環境保全協議会 副会長 松澤 秀則

4. キャンパス見学会 12:30～13:10

参加費

研修研究会 区分別参加費（非課税）

区分	参加費（情報交換会参加費含む）
会員校 教職員	10,000 円
会員校 学生	無料
賛助会員	10,000 円
大環協会員	10,000 円
オブザーバー（上記以外の区分）	12,000 円

【参加費振込先】三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店

（普）3 6 8 8 9 5 5

シリツダイガクカンキョウホゼンキョウギカイ オシオ ヒロシ

以上